

令和6年度 見附市中学生海外派遣事業

## 中学生スタディツアーア in ダナン 報告集

# 心に残るベトナム ダナン市での交流

令和6年8月6日～14日 9日間



見附市





見附市長 稲田 亮

## はじめに

12回目となる今年度のベトナム・ダナン市への中学生海外派遣事業が、無事に終了いたしました。

ダナン市は目覚ましい成長を遂げている都市であり、今回の訪問を通じて派遣生たちは、そのダイナミックな発展や豊かな文化に触れ、より広い視野を持つとともに、国際理解を深める貴重な経験を積むことができたのではないかと思います。

また、派遣生たちは訪問先のタイソン中学校、ダナン外国語大学、さくら日本語センターにおいて、見附市の紹介プレゼンテーションを行ったほか、さらに見附音頭と一緒に踊るなどして、ダナン市の皆様に見附市を身近に感じていただくことで、ふるさと見附の魅力をアピールしてくれました。

今年もダナン市外務局のご協力により、一般家庭での3泊のホームステイを体験することができました。言語や文化の違いに戸惑いながらも、ホストファミリーの温かいおもてなしのおかげで安心してコミュニケーションを図ることができ、ダナン市の方々から積極的に多くのことを学ぶことができたようです。このような貴重な場を設けてくださったダナン市外務局に、心よりお礼を申し上げます。

本報告集には、派遣生たちがダナン市で得た感動や、今後に向けた決意が詰まっています。ぜひ多くの方々にそうした思いを感じ取っていただくとともに、これから派遣事業に参加を希望する学生たちの参考になれば幸いです。

最後に、本事業の実施にあたり、ご支援・ご協力をいただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

# 令和6年度中学生スタディツアーア in ダナン 報告集 目次

1 派遣生・引率者メンバー	1
2 日 程	2
3 訪問の様子（派遣生一言コメント）	3～9
4 現地学校での発表の模様	10
5 ダナンってこんなところ！	11～13
6 派遣生感想文	
・ベトナムに行って変わった自分	燕中等教育学校3年 斎木 和 14
・思い出をと経験を大切に	燕中等教育学校3年 小尾 希実 15
・トライアンドエラー	南中学校3年 土田 雪成 16
・伝統と革新の国～ベトナム～	附属長岡中学校2年 武石 英翔 17
・大きな一歩をふみ出して	今町中学校2年 小林 陽葵 18
・見附市海外派遣事業を通して	南中学校2年 宮島 愛奈 19
・今回学んだこと	西中学校2年 酒井 璃子 20
・スタディツアーアで感じた感謝	西中学校2年 宮島 そら 21
・ベトナムに行って現地とのちがいや感想！！	南中学校1年 西 桜 22
・私が見た新しい場所と人々	西中学校1年 中島 一花 23
7 学習会等の様子	24～26
8 付ろく～ベトナム文化の紹介～	27



## 令和6年 中学生スタディツアーア in ダナン 訪問団

派遣生10名			
齋木 和 (燕中等教育学校3年)	小尾 希実 (燕中等教育学校3年)	土田 雪成 (南中学校3年)	武石 英翔 (附属長岡中学校2年)
小林 陽葵 (今町中学校2年)	宮島 愛奈 (南中学校2年)	酒井 璃子 (西中学校2年)	宮島 そら (西中学校2年)
西 桜 (南中学校1年)	中島 一花 (西中学校1年)		

引率者3名	
団長：教育部長 兼 教育総務課長	近藤 芳生
まちづくり課長補佐	長谷川 裕恭
今町出張所長	白井 恵

# 令和6年度中学生スタディツアーア in ダナン 日程

	月 日	時 間	日 程
1	8/6 (火)	13:20	ネーブルみつけ集合、出発
		13:40	マイクロバスで長岡駅へ
		14:49	新幹線で東京駅へ
		17:03	成田エクスプレスで成田空港へ
		17:58	成田空港からバスでホテルへ
		18:50	成田ゲートウェイホテル到着
2	8/7 (水)	6:30	ホテルからバスで成田空港へ
		9:00	成田空港出発<VN319 便>
		12:40	ダナン国際空港到着
		14:50	トゥーン劇場訪問(伝統衣装試着)
		19:30	夕食後、フラマリゾートホテル到着
3	8/8 (木)	10:00	五行山観光
		14:00	タイソン中学校訪問
4	8/9 (金)	10:00	ダナン外国語大学訪問
		11:40	ダナン市外務局訪問、外務局招待による昼食会 →ホストファミリーと対面、ホームステイへ
5	8/10 (土)		ホームステイ
6	8/11 (日)		ホストファミリーと自由行動
7	8/12 (月)	8:00	ホームステイからホテルへ ホストファミリーとお別れ
		10:00	さくら日本語センター訪問
		16:00	世界遺産ホイアン見学(日本橋、福建会館、シクロ乗車など)
8	8/13 (火)	10:30	バナヒルズ見学(バナケーブル乗車、アトラクション乗車など)
		20:50	ダナン国際空港へ
9	8/14 (水)	0:50	ダナン国際空港出発<VN318 便>
		7:35	成田空港到着
		10:15	成田エクスプレスで東京駅へ
		11:40	新幹線で長岡駅へ
		13:30	マイクロバスで見附市へ
		14:00	ネーブルみつけにて到着式

## 8月6日

### ★ 出発式(ネーブルみつけにて)



いよいよ出発！！みんなものすごくドキドキわくわくしていました(希実)

### ★ 長岡駅にて



みんな初めての海外なので楽しみという気持ちだけではなく緊張したり不安だったりしていました。(英翔)

## 8月7日

### ★ ダナンに向かう飛行機にて



初めて飛行機に乗ったけど色々な映画やゲームがあって楽しかったです！(陽葵)

### ★ ダナン空港到着



ダナン空港到着～！ここで円をドンに変えたりしたよ。めっちゃ暑かった～☀(一花)

### ★ トゥーン劇場にて



みんなで伝統衣装を着た！！位の高い順に並ばせられておもしろかった(笑)(愛奈)

### ★ 海辺のレストランで夕食



ベトナムでの初ごはん！！口にあうかどうか不安でたまらなかったです…。(和)

## 8月8日

### ★ 五行山を観光①



五行山では暑い中山を登りました。観光地だけあってたくさんの人人がいました。洞くつのような場所もありとてもおもしろかったです。(そら)

### ★ 五行山を観光②



階段がすごく多くてつかれたけど、沢山仏像があつたり後光が電飾だったりびっくりも多くて楽しかったです！(陽葵)

### ★ タイソン中学校訪問①



有名な場所やクイズを出してくれた！クイズに正解したらプレゼントも...！(一花)

### ★ タイソン中学校訪問②



ベトナム語の自己紹介とスライドの発表をしました。みんな明るかったので緊張がほぐれました。(璃子)

### ★ タイソン中学校訪問③



かるたをしました。手作りのスケッチブックを見せながら対決しましたが、白熱してとても楽しかったです。(璃子)

### ★ タイソン中学校訪問④



タイソン中学校のみんながしっかりと説明を聞いてくれて、折り紙で手裏剣を作れたり、プレゼントを渡したらすごく喜んでいたし、楽しんでくれました。(桜)

## 8月8日

<p>★ タイソン中学校訪問⑤</p>  <p>上手にけん玉の説明ができるかとても心配だったけど、タイソン中学校のみんなが明るくいい時間を過ごせました！！(和)</p>	<p>★ タイソン中学校訪問⑥</p>  <p>みんなトランプで神経衰弱をしたよ～！みんなルールはあやふやだけどね(一花)</p>
<p>★ タイソン中学校訪問⑦</p>  <p>見附音頭を踊りました。タイソン中学校の人たちが積極的に輪に入って踊ってくれ楽しかったです。(そら)</p>	<p>★ タイソン中学校訪問⑧</p>  <p>ベトナムの人はとても明るくてフレンドリーでした。ホームステイ中でもタイソン中学校の人と遊んだりしてとても楽しかったです。(英翔)</p>
<p>★ タイソン中学校訪問⑨</p>  <p>日本とベトナムの旗を持って集合写真！楽しかった～♡(愛奈)</p>	<p>★ タイソン中学校訪問⑩</p>  <p>タイソン中学校での記念撮影が終わったあと、タイソン中学校の人たちとSNSアカウントを交換したり、写真をとったりしました。土田雪成ベトナムにてモテ期到来…？！(雪成)</p>

## 8月9日

<p>★ ダナン外国語大学を訪問①</p>  <p>日本語が上手でクイズなどをいっしょに答えたり優しく接してくれて楽しかったです。 (桜)</p>	<p>★ ダナン外国語大学を訪問②</p>  <p>みんな日本語がペラペラすごかったです！！楽しくけん玉をやりました！ (愛奈)</p>
<p>★ ダナン市外務局を訪問①</p>  <p>外務局はとても大きくてびっくりしました。中もとても広くてすごいなと思いました。 (そら)</p>	<p>★ ダナン市外務局を訪問②</p>  <p>見附市ではありえない高さの建物でした。ダナンのいろいろなところを教えてもらいました。(英翔)</p>
<p>★ ダナン市外務局の招待で昼食会</p>  <p>緊張した空気感の中、自己紹介をしました！！自己紹介をほめてくれて嬉しかった！！(和)</p>	<p>★ ホストファミリーと対面</p>  <p>ホームステイ先の人たちはとても優しくしてくれました。英語で話しかけてくれたのに答えられなかったのが悔しかったです。 (雪成)</p>

## 8月9日夜～12日朝

★それぞれのホストファミリー宅でホームステイ

## 8月12日

<p>★ ホストファミリーとお別れ①</p>  <p>朝、忙しかったのにホテルに送ってくれたり、写真を撮ってくれたり最後まで笑顔でお別れできました。(桜)</p>	<p>★ ホストファミリーとお別れ②</p>  <p>ホストファミリーがとってもいい人たちだったので別れるのはさみしかった…。でもいい思い出を沢山くれました！(陽葵)</p>
<p>★ ホストファミリーとお別れ③</p>  <p>ホストファミリーとお別れしました。とても明るく、とてもやさしい家族で別れるのがさみしかったです。(璃子)</p>	<p>★ さくら日本語センターを訪問①</p>  <p>生徒さん達がソーラン節を踊ってくれた！日本の踊りを知ってくれて嬉しかった！(愛奈)</p>
<p>★ さくら日本語センターを訪問②</p>  <p>さくら日本語センターの皆さんと見附音頭を一緒に踊りました。キレキレに踊っている人もいて嬉しかったです。(雪成)</p>	<p>★ さくら日本語センターを訪問③</p>  <p>みんなで写真撮影！まつうらさん(ベトナムで日本語を教えている日本人の先生)が明るくて面白かったです(希実)</p>

## 8月12日

<p>★ さくら日本語センターを訪問④</p>  <p>すごくノリのいい人たちで遠慮がちだった時もお菓子をくれてほほえんでくれてうれしかったです。(陽葵)</p>	<p>★ さくら日本語センターを訪問⑤</p>  <p>けん玉を初めてやる事は難しいかなと思いましたが、丁寧にコツを教えてあげました。すぐにできた人もいて、楽しんでもらえて嬉しかったです。(英翔)</p>
<p>★ 世界遺産ホイアン観光①</p>  <p>伝統的な建物の中に入れて貴重な経験をすることができた！！風通しが良かつた！！(和)</p>	<p>★ 世界遺産ホイアン観光②</p>  <p>ホイアン内をぐるっと観光。おじさんみんな優しかったです…(希実)</p>
<p>★ 世界遺産ホイアン観光③</p>  <p>世界遺産ホイアンで、ベトナムで有名なランタンを見る事ができました。いろいろな柄があり、すごくキレイでベトナムの文化を知れました。(桜)</p>	<p>★ 世界遺産ホイアン観光④</p>  <p>夜のホイアンはまさに絶景！景色に見惚れて迷子になりました。色とりどりの灯りがそこら中にありました。(雪成)</p>

## 8月13日

### ★ バナヒルズにて①



とても長いゴンドラに乗って怖かったけど楽しかったです。ガイドさんがとても優しくて感動しました。(そら)

### ★ バナヒルズにて②



(テーマパークのPR撮影に協力)いきなりの取材にうまく答えられませんでした…(希実)

### ★ バナヒルズにて③



バナヒルズのなが~いロープウェイ！なんと約20分！！いろんなことを話しながらロープウェイをたのしんだ！(一花)

### ★ ダナン空港にて



タイソン中学校の子がお見送りに来てくれました！(愛奈)

## 8月14日

### ★ 長岡に向かう新幹線にて



帰り道はみんなヘトヘト(笑)(希実)

### ★ 到着式(ネーブルみつけにて)



見附に戻ってきました！！家族に久しぶりに会えてうれしかったです。(璃子)

# 現地の学校での発表の模様

8月8日（木）タイソン中学校、9日（金）ダナン外国語大学、12日（月）さくら日本語センターを訪問。ベトナム語での自己紹介や見附市の紹介発表、日本の遊びでの交流を行いました。自分たちで内容を決め、事前学習会で準備を重ねてきたもので、現地の学生にも好評でした。

## ベトナム語での自己紹介

それぞれが考えた自己紹介をベトナム語に翻訳し、ベトナム語で自己紹介を行いました。



## 見附市紹介プレゼン

見附のいいところを紹介する内容を自分たちで考え、スライド（パワーポイント）を作成、発表しました。



## 日本の遊びでの交流

けん玉、折り紙、かるた、カードのグループに分かれて、現地の学生たちと一緒に遊びながら交流をしました。



アジア No.1 リゾート ~Da Nang~

# ダナン ってこんなところ！

「ベトナム」と聞いてどのようなことをイメージしますか？

いまベトナムは開発が進み、特にダナン市はリゾート地として世界中から注目を集めています。そんなダナン市の見どころを紹介します。あなたもきっと行きたくなる！？



## ダナンの夜景

The night view of Da Nang

経済成長を遂げるダナンは夜景も綺麗。  
町の中心を流れるハン川沿いは毎晩お祭りのようににぎわっている。

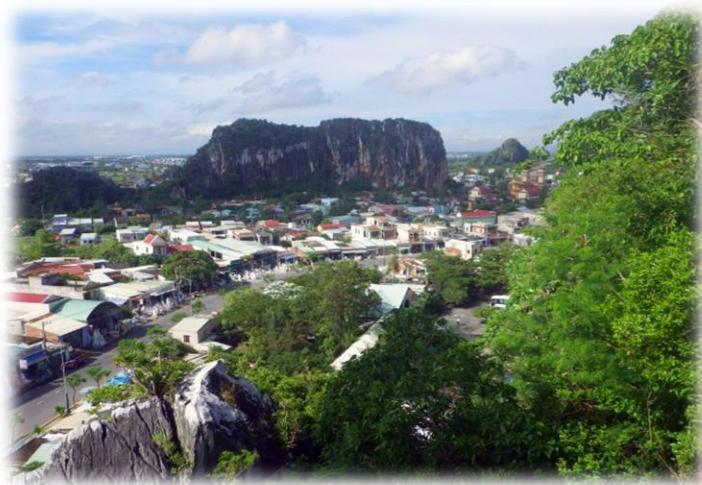


↑火や水を噴くドラゴンブリッジのショーは、毎週金曜～日曜日に観ることができる

## 五行山

Marble Mountain

平地にそびえる五つの山の総称。  
大理石でできているため、“マーブルマウンテン”  
の愛称で呼ばれる。メインの山「トゥイーソン」  
には仏像が安置され、人々の信仰を集める神秘的な  
雰囲気と、ダナンを一望できる眺めが魅力。  
(4 ページ参照)





## ダナンの海

Non Nuoc Beach

青く澄んだ海と真っ白な砂浜はとても美しく、世界中のセレブから注目を浴びている。



## ベトナム料理

Vietnamese food

「日本人の味覚に合う」と言われるベトナム料理。パクチーなどのハーブとの組み合わせや、中国やフランスの影響を受けた食文化がおもしろい。ダナンのある中部地方は宮廷料理の流れをくみ、繊細な味付け。



## フーラマ・リゾート・ホテル

Furama Resort Hotel



今回宿泊したホテル。安全・快適にリゾート感を満喫できる。ビーチに隣接しプールも完備。



## バナヒルズ

Ba Na Hills

標高 1,500m に位置するテーマパーク。中世ヨーロッパをイメージしており、まるでタイムスリップしたような気分に。山のふもととテーマパークを結ぶ「バナケーブル」という世界最長のゴンドラからの眺めも絶景。現在も拡張工事中（9 ページ参照）



## トゥーン劇場

Tuong Theater

中国の京劇の影響を受け、19世紀のグエン朝時代にフエの宮廷で発展した古典劇の専用劇場。（3 ページ参照）

ダナンからちょっと足を延ばして…

## ホイアン

Hoi An



古い町並みが世界遺産に登録されている。かつて日本人商人によってかけられた「来遠橋（日本橋）」など見どころがたくさん。シクロや遊覧船で観光するのも良い。（8 ページ参照）



↑おしゃれなお店も立ち並ぶ

↑夜にはランタンの灯りがとどり幻想的な雰囲気

ほら、あなたも行きたくなったりたでしょ？ダナンへ！

# ベトナムに行って変わった自分

燕中等教育学校3年

さい き なごみ  
齋木 和

事前学習の期間、みんなと会話を少ししかせず、出発当日を迎えた私は楽しめるかとても不安でした。ですが、出発当日の夜、私達はすぐに打ち解け仲良くなることができ安心しました。私は九人のみんなとその後も楽しみました。



一番心に残っているのはホームステイです。家族も友達もいない言語が分からぬ生活は初めてで不安と緊張で押しつぶされました。ホストファミリーが何を話しているのか分からず、愛想笑いをしていた私にホストファミリーもとまどってしまい、申し訳ない気持ちになりました。どうすれば上手く溶けこめるのか考えれば考えるほど、九人と家族のことを思い出し目に涙がたまっていきました。言語が通じないことの大変さを知り私はどうすればいいのか分からずパニック状態になってしまいました。ですが、今回なるべく翻訳(アブリ)を使わずに自分の力を試したかった私は一回も翻訳を使わずに三泊四日間過ごしました。

ホームステイを通して学んだことは「自分の意志をハッキリ言わないと伝わらない」ということです。ベトナムの人達はとても元気なので、休みたかったら「休みたい」と正直に伝えないと長時間お出掛けすると分かりました。同時に責任も感じました。見附市の代表の一人として選ばれた限り、代表として全力で頑張らなければならないという思いがあふれました。

ホームステイは私を様々な面で成長させてくれました。自分の良い部分を伸ばし、悪い部分を少しでも直し、人間性を磨きました。ベトナムではとても充実し、貴重な経験をしました。この経験を来年の学校行事「オーストラリア研修」に存分に生かして人一倍に成長したいです。そして、このような機会を設けてくださった見附市、ダナン市、引率してくださった市職員の方々、一緒に楽しんでくれた九人の仲間に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

# 思い出と経験を大切に

## 燕中等教育学校3年

おひ 尾 希実



今回の旅をふり返ると、本当にたくさんの感情が浮かんできます。

一番楽しかったことは、と聞かれると選びきれませんが、一番成長できたことは、と聞かれると、すぐに「ホームステイ」と答える、そんな経験をしたのがホームステイです。

この旅のメインの一つとも言える、丸二日間のホームステイで、私はホームシックのような状態になりました。ベトナムの食べ物は日本とは味が全然似ていなかったり、外出時間の遅さや湯舟がないことなど、文化が違っていたり、と、本場のベトナムでの生活は、想像の何倍も大変でした。また、ホームステイ先には自分一人で訪問したため、とても心細く、言語の壁から、ホームステイ先の家族には本当に気持ちを打ち明けることもできませんでした。目の前で家族が仲良く話しているところを見るのは、正直辛かったです。そんなとき、同じ派遣生のみんなや家族、友人と連絡をとっていたことで、なんとか乗りこえることができました。自分のまだ未熟な部分に気付けたと同時に、自分のネガティブな感情にうち勝ち、成長できたこの経験は、本当に貴重だと感じています。

また、派遣生のみんなには、ホームステイのときだけでなく、様々な場面で助けてもらいました。事前の学習会では、仲良くなりきれていなかった分、初日はほとんど会話がなく、まだお互い気を遣いあっていたので、内心「このメンバーでやっていけるのかな。」と不安でした。しかし、その後あっという間に打ちとけて、大変なこともみんなで乗りこえられて、とても楽しかったです。もう旅が終わり、このメンバーで過ごすことがないんだと思うと、本当に寂しいですが、この体験を一人一人がこれからに生かすことで、思い出も心にしっかりと残るだろうと思います。

今回の旅での目標だった、「文化の違いを体験してくる」と「出会う人たち全員と話し、仲良くなる」はしっかりと達成できました。自分の周りだけでなく、もっと広い視野で見れたことで、これから勉強への意欲に繋がったり、もっともっと成長したいと思えたりしました。まずは、今広がった自分の「世界」をもっと広げていきたいです。そして、これから生きていくなけて必ず役立つであろうこの経験を大切にし、自分が人の役に立つ、そんな人になりたいです。

最後になりますが、慣れない異国之地での生活を、楽しい日々に変えてくれた派遣生のみんな、今回の派遣事業に関わって下さった見附とベトナムの皆様、本当にありがとうございました。

# トライアンドエラー

南中学校3年

つちだ きよなり  
土田 雪成



私が、スタディーツアーインダナンで一番強く感じたことは、挑戦することが大事だということです。

私は、今回の派遣事業でホームステイ先の家族とたくさんコミュニケーションをとるという目標を掲げていました。それは、ある程度は外国の人たちともコミュニケーションがとれるという自信があったからです。そのため、何を話そうか考えて、ホームステイ先の人たちと会いましたが、挨拶の時点で、相手の言っている英語がまるでわからないことにとても驚きました。

相手とコミュニケーションがとれなかったことがとても悔しかったです。どうコミュニケーションをとろうかという以前に、私とホームステイ先の家族に言語の壁を感じて、積極的にいくことができませんでした。しかし、ホームステイ先のケンという中学二年生の男の子やアボという高校生の男の子は、聞きとりやすいようにゆっくりと話してくれたり、翻訳アプリを使ってくれました。また、最初は失敗するのが怖くて話せないでいたけど、アボに「失敗してもいいから、会話に挑戦してみてほしい。」と言われ、自分から話しかけるようにしてみました。私は言語の壁があろうとも様々な方法で会話をしようとしてくれる、ケンやアボを始めとするこの旅で出会ったすべての人たちのその姿がとても嬉しかったし、見習いたいと強く思いました。お世辞にもうまく話せたとはいえない、間違いだらけの英語だったけど言い換えてみたり、伝わらなかつたら翻訳アプリを使って、たくさん話すことができました。この派遣事業の中でホームステイが一番不安だったけど、積極的にコミュニケーションをとるようになれたことで、一番自分が成長したと感じられる3日間になりました。

私はこの経験が、世界の共通言語である英語をつけようとおもう大きなきっかけとなりました。それは、また海外に行くとき外国人と積極的にコミュニケーションをとれるようにしたいからです。そのために、どんなことも失敗を恐れずに、トライアンドエラーをくりかえして自分をどんどん成長させていきたいです。

# 伝統と革新の国～ベトナム～

## 附属長岡中学校2年

たけいし えいと  
武石 英翔



私は、ダナン市に行くことが決まった後に、ベトナムのことを本で調べました。日本や中国、インドの文化などたくさんの周りの国々に影響を受けてできた文化でした。

実際、ベトナムについてやはり日本とは違う雰囲気を感じました。ベトナムの住宅街や自然環境はどんな風なのか、発展しているのか少し不安でした。しかし、実際に行ってみると空港から自然も見え、しっかりとした住宅地もあって想像よりも凄いと思いました。いくら本で読んだとしても、実際体感してみないと雰囲気はわからないし、似ている部分の中にも、違うところを感じることができるのがとても良い経験でした。

ベトナムは経済発展している国と言うことで、ダナンはとても活気があるように思いました。

リゾートホテルが立ち並び、カラフルな夜景と、とても滑らかな砂浜があり、楽園のようでした。発展している感じがとても伝わってきました。

言葉は学生もホームステイのご家族も、ベトナム語以外に英語と日本語も少し話せました。私が英語をもっとたくさん話すことができたら、会話ができたと思うと、英会話の重要性を強く感じました。

ベトナムの人々がわかりやすい英語や日本語を使ってくれて、生活に支障はありませんでしたが、自分の語彙力のなさを感じました。ベトナムの人々にもっと多くの日本の話を聞かせてあげたかったです。

ベトナムの学生はとても積極的でいろいろ話しかけてくれるし、日本の文化や遊びにもとても興味を持ってくれました。若い年代の人々の知ることや試すことへの積極性がベトナムを発展させているのだと思いました。

スマホで調べれば何でも教えてくれて、それで知っているように感じてしまい、行動することが面倒になることは良くないなと思いました。自分は積極的に行動して体験することが好きな方ですが、何となく体験するのではなく、ベトナムの学生のように積極的にコミュニケーションをとったり、知らないことを知りたいと思うことで自分を成長させられるように見直していけたらと思いました。

ホームステイ先では、いろいろな体験をさせてもらいました。海岸沿いをドライブしながらリンウン寺のレディブッタを見学しました。大きくて迫力がありました。料理もたくさんの種類を作ってくれました。フォーは知っていましたが、それ以外は初めての料理ばかりでした。辛い物が多かったですが、とてもおいしかったです。

プールや、海にも入りました。自分達が来ているからか、同じくらいの年齢の子がたくさん遊びに来てくれて、楽しかったです。海水は透明度が高く、砂浜は砂が細かくて足が痛くないとても滑らかな砂でした。

私のために、家族みんなが親切にいろいろな体験をさせてくれて、本当に感謝したいです。

今回のスタディツアーに参加して、やはり行動すること、体験することは、自分自身をとても成長させると感じました。情報を聞いたり見たりすることとは比較にならないほどの良い影響を受けたと感じています。今後にむけては、ベトナムの学生のように知ることに積極的になり、自分を高めていけるようにしたいです。

# 大きな一歩をふみ出して 今町中学校2年

こばやし ひまり  
小林 陽葵



私がスタディツアーリーを体験して感じたことは二つあります。一つ目は街が大きいことです。

ダナンには海や露店、観光地がたくさんあります。連れていってもらった場所だけでも五ヵ所以上の観光地や大規模なナイトマーケットがあって、おどろきました。海では海水が日本よりあおく、砂も白くてキメがこまかくてとてもキレイでした。

街が大きいと人口も多かったです。観光地へ行くとどこも混み合っていました。人口もですが、乗り物も日本と比べるとバイクがあつとう的に多かったです。一人乗りが少なく、大体が二人から多いところで四人乗りでした。子どもがヘルメットを付けず乗っているところを見て警察などに注意されないのか不思議でした。

二つ目はベトナム人についてです。ホームステイ先やお店の方々がとてもやさしかったです。お土産屋では日本人向けだからかもしれません、日本語で話しかけてくれたり、試食などフレンドリーに接してくれました。ホームステイ先も色々な場所につれていってくれたり、様々な体験をすることが出来ました。ベトナム語はしゃべれないのでほんやくを使って会話していましたが、時々日本語で話してくれたり、身ぶり手ぶりで伝えてくれたのでとても楽しかったです。

スタディツアーリーを通して、目標の外国人としゃべれるようになる、はあまり達成できませんでした。ですが、コミュニケーションをがんばって取ろうと努力することは出来たので、よかったですなど思います。スタディツアーリーでの経験を活かし、色々なことに挑戦したり、失敗をおそれずにできるように、これからがんばっていこうと思います。

# 見附市海外派遣事業を通して

## 南中学校2年

みやじま まな  
宮島 愛奈



私は先日、見附市が行っている中学生海外派遣事業に参加しベトナムのダナン市を訪問しました。初めての海外で期待と不安が入り混じっていましたが、貴重な忘れられない経験になりました。

まず衝撃を受けたのはベトナムの交通事情です。沢山のバイクが走り回り活気で満ちていました。信号があってもバイクが途切れることはなく、その中を何事もないようにすり抜けしていく現地の人々にとても驚きました。

またベトナムの街並みは夜になるとさらに活気が増し、明るくカラフルで、沢山の人が賑わっていました。特にナイトマーケットでは屋台に人が集まっていました。その様子には日本のお祭を感じさせる光景でした。

現地の人々との交流の一環としてタイソン中学校を訪問しました。見附市とダナン市を紹介し合い、有名な場所などについて知ることができました。けん玉や折り紙などの遊びを通して、生徒のみんながとてもフレンドリーだと感じました。国を超えて友達をつくりとても楽しく一生の思い出になりました。

この派遣事業の中で私にとって大きな経験になったと考えるホームステイでは、ベトナムの日常生活や文化を感じることができました。ホストファミリーは私を親切に迎え入れ、家族の一員のように接してくれて人々の温かさに感動しました。出発前は初めてのホームステイに不安も感じることもありましたが、彼らの笑顔と優しさのおかげでとても楽しく過ごすことができました。

私はこの派遣事業を通して、異文化への理解を深め、より国際的な関わりに興味を持ちました。今後も国際的な視点を持ち続け、派遣事業で感じたことを忘れず自分の成長に繋げていきたいと思います。

# 今回学んだこと

## 西中学校2年

きかい りこ  
酒井 璃子



今回の中学生スタディーツアーインダナンで一番実感したことは自分の知らない文化に触ることはとても面白いということです。特にホームステイ先での出来事が印象に残っています。ホームステイ先の家族とベトナムになる前の国について展示されているチャム彫刻博物館に行きました。日本は近代まであまり国領土が変わることがなかったので前の国というのがあまり触れる機会がありませんでした。日本は石像よりも粘土を固めたものや木像が多いのに対して、その博物館には仏様の形をしている石像が多くありました。しかし、石像の中には首から上がないものや足先しか残っていないものがありました。ホームステイ先の家族からは「それはベトナム戦争で壊れたのよ」と教えてもらいました。ベトナム戦争について今までほとんど知らなかったので、自分が目を向けていた世界がどんなに狭いものかをより実感しました。

観光地では中国やフランス、日本に影響された建物があり、こんなに密集したところで多くの国の文化が融合していることにとても感心しました。

ベトナム独自の文化もあり、ベトナムの方と交流することはとても楽しく、以下のような大事なことを学べました。

一つ目は誠意を持つことです。ベトナムの人はとても優しく、多くの人に助けてもらいました。ベトナムではありがとうを「カム・オン」といいます。何かしてもらったときに「カム・オン」と言うと笑顔が返ってくることが多かったです。しかし、どんなに丁寧でも誠意がなければ伝わりませんでした。片言でも誠意を持って伝えれば伝わると感じました。

二つ目は何度も挑戦することです。食でも、人と話すことでも挑戦することはとても大事です。大事なことはあきらめないことです。伝わらなくても何度も挑戦すれば伝わるということを経験しました。

三つ目は人に頼ることです。私は英語を話すことが苦手なため、一緒にホームステイ行った宮島愛菜さんにたくさん助けてもらいました。「助けてほしい」と伝えることで多くの人に協力してもらうことができました。協力してくれた人にはきちんとお礼をするのはもちろん、人に助けを求められたときは率先して協力しようと思います。

今後はこの貴重な体験を生かして多くの人の助けになれるよう過ごしていきたいです。

# スタディツアーで感じた感謝

西中学校2年

みやじま  
宮島 そら



私は今回のスタディツアーin ダナンでとてもいい経験ができました。初めての海外で不安なこともありましたが、様々な人から助けてもらい最高の思い出ができました。今回のツアーでの学びは感謝や思いやりです。

まず最初に私がこのツアーに参加させてもらったこと、そして最初から最後までずっと応援してくれていた家族や見附市の職員の方、ベトナム語を教えてくれた講師の方々、一緒に行った仲間にとても感謝しています。

ベトナムに行ってからもホストファミリーやガイドの方や通訳の方、訪問先で関わった人たちがとても優しくたくさん話しかけてくれてとても嬉しかったです。国が違っても美味しい、綺麗、楽しいなど感じたことを共有できて嬉しく言葉では表せないほど感動しました。ベトナムではダナン外国語大学やさくら日本語センター、タイソン中学校へ行って見附市の魅力や日本のあそびについて説明してきました。みんなで準備した発表をしっかりと伝えられてよかったです。

五行山やホイアン、バナヒルズなどのベトナム観光も楽しみました。

バナヒルズでは優しいガイドの方がお土産屋さんに連れて行ってくれたり、海外の観光客の方に写真を撮ってと頼まれたりと観光地ならではの体験ができました。

一番不安だったホストファミリーとはとても仲良くなれました。英語やベトナム語が通じなくとも翻訳して伝えようとしてくれる姿にとても感動しました。今回ツアーに参加するにあたって立てた目標、「自分から積極的に行動する」のもと自分が伝えたいことを伝え、後悔しないよう積極的に自分から動けました。ホストファミリーはドラゴン橋という火や水を吹く橋や海、花火も見に連れて行ってくれました。短い期間だったけどとても幸せでした。

日本が恋しくなることもあったけれど、自分が勇気を出して挑戦したことを誇りに思います。ここには書ききれない旅の思い出を多くの人に伝え、この経験を活かして様々なことにチャレンジしていきたいです。

そして、ベトナムの人たちがしてくれたよう、日本に来たら全力で歓迎したいと思います。

# ベトナムに行って現地とのちがいや感想！！

南中学校1年

にし さくら  
西 桜

ベトナムダナン市の言語はベトナム語ですが、意外にも英語が通じました。英語は世界共通語だと改めて感じました。今まで学んできた英語が役にたちました。英語のお陰で現地の人とコミュニケーションを取ることができ、不安がへり、楽しむ生活ができました。なので、日本に帰ってきたらもっと英語を勉強しようと思いました。



ベトナムの食事は一食一食が多く、日本の三倍の量で、私にはとても食べきれませんでした。でも、ベトナムの人には普通の量のようです。日本人は胃袋が小さいと思いました。

そこで私が食べておいしいと思ったのは、ベトナムのお店で食べた生春巻きです。日本の春巻きとは少し違い揚げずにライスペーパーにお米、大葉みたいなもの、揚げ物が包まれていて美味しかったです。

飲み物は私たちが行ったホテルで出してくれたドラゴンフルーツのウェルカムドリンクです。ドラゴンフルーツをカップにしたスムージーのようなフルーツポンチ味で美味しかったです。

そして私はベトナムでホームステイという貴重な体験をしました。最初は寂しさや不安もありましたが、ホストファミリーの人達はやさしく接してくれてホストファミリーのいとこや友達も明るく迎えてくれて楽しく過ごせました。

ホームステイではホストファミリーといとこと友達の家族全員で山に散歩に行きました。海にも連れて行ってもらいました。大勢で行く海は楽しくきれいでいい思い出になりました。

そしてベトナムダナン市の中学校、大学、外務局、日本語センターを訪問しました。そこでは、仲間と一緒に考えたプレゼンやベトナム語での紹介をしました。最初は大きな声を出すのに自信がありませんでした。でも、現地の人達が笑顔で迎えてくれたり、真剣に聞いてくれたので、ちゃんと伝えようと思い、意識して大きな声を出すことができました。

プレゼンも大成功で仲間との関係も深まったと思います。

# 私が見た新しい場所と人々

## 西中学校1年

なかじま いちか  
中島 一花



私はこの夏スタディーツアーで初めての海外を派遣生としてベトナムに行きました。

初めての海外に行くにあたって自分から立てた目標は2つあります。1つ目は、なにより楽しんで積極的にあたらしいことを見て、聞いて、ふれて、体験し、自分の視野を広めていくこと、2つ目は少しでもベトナムを知って帰ってきたときにまた行きたい、もっとこれを知りたかったと学んだり、色んなことにチャレンジする意欲をもっと増やすことでした。事前学習最初では、知っている友達、全く話したことのない初めての人と2つに分かれていきました。仲よくなれるか、どんな人なのだろうかと毎回ドキドキしていました。そこで私はまずみんながどんな人か知ることから始めました。事前学習がつまれていくにつれてあの人はこれが得意、これは苦手なのかな、とちょっとずつ知ることができました。班が一緒になった子、一緒にパワーポイントを作成してくれた子、みんなの優しさやコミュニケーションのおかげでベトナムへ行く不安からどんどん楽しみになり、行ったら何を一緒にしよう、長期間でもっとこの人について知りたい!と思うことができました。

いざベトナムに行ってみて驚いたことや楽しかったこと、あらたな発見があったのでそれを紹介します。ベトナムの人達はとにかく優しくて、なににでも熱心に教えてくれました。道を案内してくれたり、仕事に全力な人がたくさんいました。驚いたことはベトナムの人はとてもバイクの運転が上手であることです。ベトナムの人はバイクを使って移動するが多く車道をわたる時必ずよけてくれ、とてもドキドキしてわたりましたがとても驚きました。訪問した場所の一つタイソン中学校では、来てすぐに手を振ってくれたり笑顔であたたかく出迎えてくれました。初めはどう言葉のかべをこえようか心配でした。ですがジェスチャーや英語を使って交流をした時、真剣に話を聞いてくれたり言葉を分かってくれようしてくれたので言葉がちがくても友達を作ることができました。もっと話したい、これを教えたいと積極的に交流することができとても楽しい時間でした。私がみつけた発見では、ベトナムの人たちはやりたいことをやっていて、行動するのが早く、自分がやっていることや仕事などを自分らしくどうどうとしているところです。なににでもチャレンジ性があり自分もこうなりたい!と思いました。この体験をいかし、失敗をおそれず、チャレンジする、他国ともっと交流して日本中心な考えだけじゃなく、いろんな国を見て、感じて、交流してこれからも視野を広めていきたいです!ホームシックになったり、トラブルがあったりしたけどベトナムに行けて本当によかったです。

おもしろくて一緒にいて楽しい派遣生たちと一緒に7泊9日をすごすことができて楽しかったです。また派遣事業に参加できるならもっと勉強してレベルアップして再度ベトナムに行きたいです。

## 学習会など

### 第1回事前学習会（5月15日）

- ・自己紹介
- ・派遣事業の概要説明
- ・令和元年度の派遣の様子を説明



### 第2回事前学習会（5月22日）

- ・ベトナム人講師ロンさんからベトナムの紹介
- ・旅行会社による海外旅行についての説明



### 第3回事前学習会（6月14日）

ベトナム人講師ロンさん、クアンさんをお迎えして

- ・ベトナム語による自己紹介の練習
- ・Ba kě con nghe (ベトナムの歌) を歌う



## 第4回事前学習会（6月21日）

- ベトナム人講師ロンさん、クアンさんをお迎えして  
・ベトナム語による自己紹介の練習、Ba kě con ngheを歌おう



## 第5回事前学習会（6月28日）

- ・現地で発表する内容を検討



## 第6回事前学習会（7月10日）

- ・現地で発表する内容を検討  
・見附市紹介のプレゼン資料を作成



## 第7回事前学習会（7月18日）

- ・発表練習（自己紹介、見附市紹介、遊び紹介）



## 出発激励会（7月30日）

- ・派遣訪問にあたっての抱負を発表
- ・現地で行う発表を披露



## 出発式（8月6日）

- ・出発にあたっての抱負を発表
- ・集合写真撮影



## 帰国報告会（9月11日）

- ・スタディツアーの感想、今後に向けての抱負を発表
- ・事業報告を発表





## ■ベトナムのトンボ文化

ベトナムでは、トンボはチュオンチュオン (chuonchuon) と呼ばれ、幸せを呼ぶ”ラッキー”な、アイテムです。しかしながら、最近のベトナムの若い人々は、そのことをしりません。でも、間違いなく、過去から今に伝わってます。それが、はっきりと分かる写真があります。



これは、昔からあるおもちゃ、バランストイです。トンボのやじろべえとでもいいましょうか！

もう一つの写真は、ベトナムの有名な、バッチャン焼きです。古くは、日本で安南焼き(安南は、ベトナムのこと)このボケた青色が茶人に人気があった様です。ここにもトンボが描かれています。

やはり、トンボが大切にされていたのですね！

## ■ベトナムの朝食文化

ベトナムの朝は早く、学校が7時ぐらいから、会社は8時ぐらいからになります。そのため、朝ごはんは通学、通勤途中の屋台でフォーを食べる人が多く、人気の屋台では、お昼前になると麺がなくなってしまうこともあるそうです。

また、小さめのフランスパンにレバーペーストや野菜をはさんだ「バインミー」も人気です。



フォー



バインミー





Happy  
Summer

